

第12回

自分の夢や目標を発表しよう

講師

阿野 幸一

◆◆◆ 今回の目標 ◆◆◆

前回取り上げた I want to... 以外にも、My dream is to... などの表現を使って、将来の夢や目標を伝えることができます。

自分がやってみたいことをテーマに、これまで学習した文法表現を使って短い文章にまとめ、発表してみましよう。

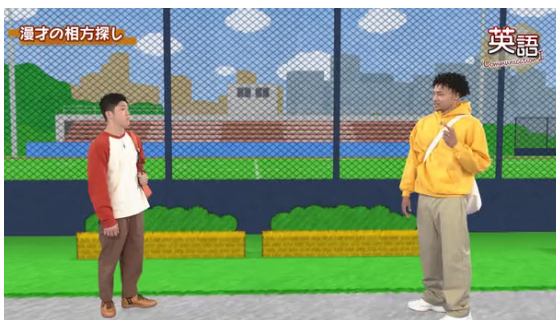
どんな順番で文を並べたら、相手に伝わるスピーチになるでしょうか？

1 スキット前半の内容から



Masato が、自分の夢や目標を伝える表現に注目しましょう！

漫才の相方さがし



前回のスキットで、Kurumi に自分の将来の夢は日本でお笑い芸人になることだと言った Daniel が、朝の登校時間、Masato に声をかけます。

Daniel : Do you like *manzai*?

Masato : Yes, I do. Why?

Daniel : I want to be a comedian. I want you to be my partner.

Masato : Actually, I'm a big fan of *manzai*. But my dream is to be a chef.

Daniel : A chef?

Masato : Yes! I love to cook. I hope to study French food in Paris someday!

Daniel : OK... Good luck.

2 文法・表現 名詞の働きをする「to不定詞」のいろいろ



to不定詞を活用して、自分の夢や目標を言ってみよう！

自分の将来の夢を伝える

My dream is to be a chef. (私の夢はシェフになることです)

☆あなたの文を作ってみよう！

My dream is to _____ .

自分の希望することを伝える

I hope to study French food in Paris someday.

(私はいつかパリでフランス料理を勉強することを望んでいます)

☆あなたの文を作ってみよう！

I hope to _____ .

番組では、I want you to be my partner. という表現も出てきます。

主語 + want + 人 + <to + 動詞の原形> で、

「主語 (この場合は私)」は、「人 (この場合はあなた)」に、「(漫才の) 相方になってもらいたい」という意味になります。

「あなた (you)」が、「私の相方になること (to be my partner)」を、「私は望む (I want)」という文の形で、だれかに何かをしてもらいたいときに使います。

たとえば疑問文で、Do you want me to なになに? という言い方がよく使われます。

「私になになにをしてほしいですか?」という意味となり、to以下のことをするのはyou (聞き手)ではなくme(話し手であるme)をさしているのです、注意が必要です。

3 文と文をつなぐときの注意点



自分の将来の夢や目標を伝える文がいくつか準備できたら、それらをつなげてまとまりのある文章にしてみましょう。
そのとき、気をつけたいポイントや注意点は何でしょう？

こんな文章になっていませんか？

みなさんが将来の夢について、3つの文で人に伝えるとします。まず、次の文章を見てみましょう。

I want to be an English teacher.

I like music very much.

I am interested in cooking.

この3つの文はどれも文法的には正しい文で、1つ1つの文の意味も伝わりますが、もしこれがスピーチだったら何を言いたいのかわかりませんよね。「英語の先生になりたい」と聞いたら、「どうして英語の先生に？」「今どんな努力をしているのだろう？」などと期待をして聞くとします。この例では、話題が「英語の先生 → 音楽 → 料理」とつながりがないことが原因で、「英語の先生になりたい」というメッセージをうまく伝えることができなくなっています。

では次の例を見てみましょう。

I want to be an English teacher. I like English and children very much.

I watch English Communication I on TV every week and I study English very hard.

こちらはいかがでしょうか？「英語の先生になりたい → 英語と子供が好き → テレビを見て英語を一生懸命勉強している」とつながり、先生になりたい理由やどんな努力をしているかがはっきりと伝わります。

英語でコミュニケーションをとるときには、意味が伝わる1つ1つの英文を言うことも大切ですが、2つ以上の文を、つながりを持って伝えていくこともとても大切なのです。



4 スピーチに挑戦しよう

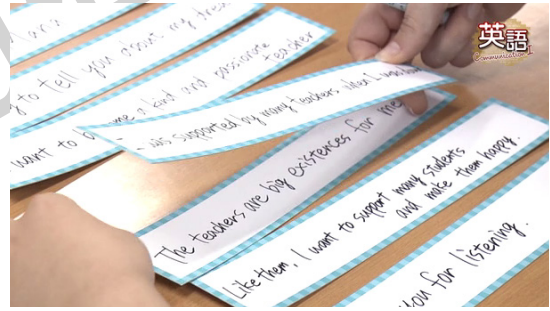


これまで学習した簡単な表現を組み合わせるだけでも立派なスピーチになりますよ！

まず、自分の夢や目標、将来やってみたいことを、
My dream is to ... などの表現を使って、書いてみましょう。どうしてそう思うのか、普段自分がやっていることや興味を持っていることを、

I play... / I'm interested in... / I love...

などの表現で、得意なことは I can ... の表現で、加えることができます。さらに、きっかけとなった体験談を過去形の文を入れて説明し、内容をふくらませてもいいでしょう。次に、so や and などの接続詞でうまく文と文をつなぎましょう。



構成する文章が出来上がったら、どういう順番で伝えたいか検討します。自分の一番言いたいこと、伝えたいことは、なるべく最初にもってきて、その後から理由などの説明を加えていきます。

スピーチの冒頭では、Hello, everyone. I'm going to talk about my dream. のように、あいさつや前説を入れたり、終わりには、Thank you for listening. などの一言を加えたりすることもできます。

なるべくスピーチでは、話すスピードが速くならないように、また文と文の間はしっかり間をとって、内容が聞く人にしっかり伝わるようにします。

よいスピーチをするために

スピーチをするのはどうしてかを考えてみましょう。話をする皆さんに伝えたいことがあること、そして皆さんの話に耳を傾けてくれる聞き手がいるからです。聞き手がいなくてスピーチをすることは、練習以外ではありませんね。つまり、スピーチでは聞き手のことを考えて話すことが何より大切です。



聞き手にしっかり伝えたいと思えば、声の大きさも聞きやすいくらいの大きな声で話すことになります。そして、しっかりと伝えたいキーワードは、はっきりとゆっくりと話して伝えるでしょう。聞き手が理解しているかを確認するために、アイコンタクトを取ることになりますし、もしわからないような表情をしていたら、もう一度繰り返したりもできますね。笑顔で聞いていてくれたら、こちらも自然に笑顔になりますよね！

「聞き手がいるからスピーチをする」という基本を忘れずに、聞き手のことを考えてスピーチに挑戦してみてくださいね。



目的外的
使用禁止